

人口増、出生率上昇、税収増！

今、元気な明石を解き明かす！

こども、高齢者、障害者をはじめ、「いつまでもすべての人にやさしい」まちづくりに積極的に取り組み、「選ばれるまち」となった明石は、人口が増え、出生率が上昇して活気づいています。子育て支援がまちの元気や活力につながっています。



- ✓ **住む人増** えています 7年連続増。人口が過去最高に！もうすぐ30万人！
- ✓ **出生率上昇** しています 合計特殊出生率1.70。安心して産み育てられる環境
- ✓ **地価上昇** しています 6年連続上昇！明るく生まれ変わった駅前
- ✓ **税収増** えています 主要税収入[※]が6年で22億円増 ※個人市民税、固定資産税、都市計画税の合計額
- ✓ **市民満足度上昇** 「住みやすい」2014年83.0% ⇒ 2019年91.2%



これが明石の好循環だよ！



元気な明石市

視察レポート



子育て支援で全国的にも有名な兵庫県明石市での視察研修を行いました。明石市の魅力ある施策について、報告します。

明石市の取り組みのポイント



明石観光PR隊長「ひなたこ」出張中！

1月17日（金）、橋本町長をはじめ、倉持議長、飯田副議長、役場職員が伺い、明石市こども局の職員から明石市の「こどもを核としたまちづくり」について説明を受けました。

こども部門の【予算】126億円 ⇒ 244億円
こども部門の【職員数】39人 ⇒ 126人
※2010年度と2019年度の比較

ポイント3

子育て支援施設の充実

「遊び・学び・育み・交流する」駅前子育てサポート総合施設

市の中心駅である明石駅前には、妊娠期から中高生まで幅広い年齢の子育てを地域でサポートすることを目指した総合施設「あかしこども広場」があります。人気の屋内大型遊具がそろった親子交流スペース「ハレハレ」は市民なら利用無料。こども図書室や広々としたプレイルームのある子育て支援センターからはいつも子どもたちの元気な声が聞こえてきます。



ポイント2

専門職が市民に寄り添う

弁護士を10名！保健師、助産師も多数採用し、相談業務に特化

10名の弁護士を常勤職員として採用し、専門知識を生かした市庁舎での市民相談に加え、病院患者や高齢者への訪問相談業務を行っています。また、保健師、助産師などの専門職も大幅に数を増やし、市で生まれたすべての子どもに直接会い、健康状態の確認や、子育てに関する悩みや不安についての相談など市民に寄り添った支援を行っています。



ポイント1

「こども」への予算シフト

子育て支援関連の予算を2倍職員数を3倍に増加！

明石市では、「こどもを核としたまちづくり」を掲げ、現在の泉房穂市長就任後、「こども」へ予算も人材もシフトし、第2子以降の保育料の無料化や中学生までの医療費完全無料化など様々な取り組みを実施してきました。その結果、人口は7年連続で増加し、税収も増加、増えた税収を新たな財源として、さらなる住民サービスを実施するという好循環が起きています。



※写真は明石市提供

明石の主な子育て支援

こどもを核としたまちづくり

中学生までのこども医療費無料化
病院代、薬代も、市外の病院も無料！

関西初 第2子以降の保育料完全無料化
所得制限なし、兄弟の年齢も関係なし！

全国初 こども食堂全小学校区43カ所に
地域でこどもを守っています！

全国初 あかし里親100%プロジェクト
里親家庭を身近に増やす取り組みに注力

公共施設の入場料無料化
親子交流スペース、科学館やプールが無料！

中核市として関西初 明石こどもセンター（児童相談所）の設置
子育て支援から虐待対応まで総合的な支援を！

中学校給食全校実施
安心安全、地産地消。あたたかな給食を届けています

様々な子育て支援が、人口増・出生率の上昇につながっているんだね！



次のページでは明石の成功事例を受けて実施する、境町の子育て支援の拡充について紹介します

境町 健康推進室 係長 小川由香



明石市での視察研修の中で、行政も地域も一緒に子育てをするという寄り添いの支援が印象的でした。今回の視察研修で学んだ「すべての子どもたちをまち全体で本気で応援する」という視点を、境町の母子保健サービスの向上に活かしてまいります。

Voice

明石市 こども局 局長 佐野洋子



明石市では「こどもを核としたまちづくり」に取り組んできた結果、人口が増え、まちの好循環につながっています。本市の事例が、子育て支援に熱心に取り組む境町の取り組みの充実と、境町の未来を担う子どもたちの健やかな成長の一助になれば幸いです。